

## 令和3年（2021年）大分県議会重大ニュース

## ■ 議員提案により「大分県手話言語条例」を制定

▶ 手話についての理解を深め、**障がいのある人とない人がお互いの個性を尊重しあう大分県の実現**を目指す。

（3月5日可決、3月12日公布・施行）

● 議会としても手話の普及に取り組むため、手話講座を開催。

（3月5日）

● **広報番組「県議会タイム」に手話通訳を導入**。

（7月11日放送～）

● 県聴覚障害者協会と協同し、**議会議中継に手話通訳を導入**。

（9月28日試験導入、11月24日本格導入）

※なお、以前から広報誌「県議会おおいた」は音読版、点字版を配付している。



手話講座▼



## ■ 安全・安心な日常に向けて新型コロナ対応の調査・研究を開始



▶ 新型コロナウイルス感染症の流行の長期化を背景に、大分県議会災害・危機管理対策連絡協議会による緊急対応から、特別委員会による専門的な調査・研究に変更した。

● 平岩純子委員長、衛藤博昭副委員長以下15名の委員による、**新型コロナウイルス感染症対策特別委員会を設置**。（6月15日）

● 月1回のペースで委員会を開催し、執行部の取組のチェックや、医療関係者、商工業関係者の意見聴取を実施。

● **コロナに関するアンケート**を行い、幅広く県民の意見・要望を調査。

## ■ 子どもや若者に身近な県議会を目指した広報活動を展開

▶ 児童生徒・学生との意見交換、情報発信を積極的に実施。

● **県議会公式ツイッター (@oitakengikai)** を始動（4月1日）

● **出張おんせん県議会若者DAY**を日本文理大学で開催。

：議員9名、学生10名が参加（7月1日）

● **夏休み子ども議会見学を初めて開催**。

：県内在住の小学4～6年生21名とその保護者が参加（8月3日）

● 議員出前講座 7校実施（小学校：5校、中学校1校、大学1校）



▲出張おんせん県議会若者DAY



▲夏休み子ども議会見学

## ■ 津久見市で初となる出前県議会を開催

▶ 「**津久見市のまちづくりと地域振興**」をテーマに、まちづくりに取り組む5名の意見発表者と、議長、各常任委員長をはじめとする14名の議員が参加。

● 意見発表は市観光協会、NPO法人、移住相談の取組など多岐にわたり、少子高齢化や人口減少に加え、コロナによる影響を受ける中で、飲食店への応援プロジェクトやYouTubeを活用した移住相談など、まちおこしの課題と展望について活発な議論が行われた。（2月5日）

## ■ 議会活動を活性化するDX(デジタルトランスフォーメーション)に着手

▶ 昨今の社会情勢や環境変化に対応し、リモート会議やペーパーレス化を推進。

● 県議会への提出書類について、押印を廃止・省略し、手続の効率化を推進。（1月1日）

● セキュリティを考慮したビジネスチャットの導入や、**委員会室へのWEB会議用機器の整備により、リモートでの会議や意見聴取に対応**。

● 本会議・委員会等のペーパーレス化に向けて、政策検討協議会で協議が進む。

【次点】・第74代議長に御手洗吉生議員、第101代副議長に三浦正臣議員が就任（3月26日）  
・初の女性議会事務局長に二日市聖子氏が着任（4月1日）